



心ひとつに 笑顔いっぱい

芝生維持活動・一斉作業

5月20日(土)、昨年度に引き続き、保護者、地域、関係団体の皆様と本校職員による芝生維持活動の一斉作業が行われました。

25度を超える暑さの中でしたが、50名以上の皆様にお集まりいただき、エアレーションの作業等を行いました。

芝生は、育つに連れて根が張り巡らされ、通気性や通水性が悪くなり土壌が固まっています。そこで、定期的にエアレーション(穴あけ)を行い、通気性・通水性をよくして、芝生が生育しやすい状態にします。今年度も、(株)栗芝の栗島さんと(株)緑の風景計画の吉岡さんに手順や方法を教えていただきながら作業を進め、終了しました。

ご協力いただいた皆様にはもちろんのこと、専門家の派遣等でご支援いただいた国立市建築営繕課の皆様にも感謝いたします。



寄稿文

【校庭の芝生化で変わった思い】

国立クラブ 事務局



芝生の校庭で行った初めての運動会

「校庭の芝生化」のお話をいただいた当初は、ボールの弾み具合、スライディングの可否など芝生で野球をやるのが不安で内野部分に土を残した図面を提案するなど、全面芝生化には反対の立場でいました。しかし、全面芝生になつてみると、制約はあるものの、野球のプレーに大きな障害はなく、それなりに試合も実施することができ、今では、決められた約束事の中で楽しく野球をさせていただいております。

加えて、グラウンドを使用するスポーツ団体の皆さんと、芝生の手入れをおして、今までにはなかった交流が生まれています。今、国立クラブは、スタッフのみの参加ですが、今後は、保護者の皆さんのご協力もいただき、スポーツをおして学童の育成を目的とするソフトボール、サッカーの皆さんと交流を図りながら、子供たちを育てるのと同様に、芝生も育てていきたいと思っています。

事務局から

〈第2回芝生維持委員会報告〉

一斉作業終了後、第2回の芝生維持委員会を行いました。事務局からは来年度からの体制として、委員長の選任の仕方について提案をさせていただきました。今後の会のスムーズな運営を考え、関係段階から輪番で委員長を選出する内容です。次回の維持委員会で各団体からご意見をいただき、平成30年度から新しい体制での運営をめざします。

委員長からは、維持委員会の新しい参加者が増えたこともあり、本校の校庭芝生化が実現する経緯について詳しくお話していただきました。

また、本年度、技術指導をお願いする(株)緑の風景計画の吉岡さんから芝生の状態についてお話があり、現在の芝生の状態を「最高に良い状態」と評価していただきました。そして、その状態を維持するための方策として、散水作業を毎日行う等のご助言がありました。最後に、7月から始まる関係団体の皆様による休日の作業がスムーズに行われるように、日誌等を活用して情報交換を行うことが確認されました。